

# リブサポ通信

## 第10号

5-Days こども図書館  
(広島市こども図書館)

〒730-0011 広島市中区基町5-83

TEL 082-221-6755

FAX 082-222-7020

### ライフライリー・サポーターズ(リブサポ)って?

こども図書館の行事や館内作業をサポートする中学生・高校生\*の会です。メンバーは随時募集中! キミも一緒に図書館で活動してみない?



こども図書館  
マスコットキャラクター  
「フックル」

## ☆こんな活動をしています☆

### おはなし会

7月~3月の第3日曜日のおはなし会では、リブサポのメンバーが、幼児・小学生に向けて絵本の読み聞かせをしています。  
※令和2年度は11月~3月の第3日曜日に実施



### イベントのサポート

図書館で行われるさまざまなイベントの手伝いや企画をしています。



← 3月に青少年センターの高校生保育ボランティア Clover のおはなし会では、受付の手伝いや、イベントの手伝いをしました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりましたが、例年12月には、青少年センターの高校生保育ボランティア Clover のメンバーと一緒に、「クリスマスのおはなし会」を行っています。



令和元年度の活動の様子

※令和2年度はこの他に、児童文化講演会や、「広島ドラゴンフライズの選手と絵本を楽しもう」などのイベントの手伝いをしています。

### 館内のサポート

毎月第2土曜日には、カウンター業務、掲示物や本のPOP作りなどの活動を行っています。  
午後1時から4時半の間で自分の都合の良い時間に、自由に参加できます。



令和元年度の活動の様子

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、館内のサポートは実施していません。

### リブサポのおすすめ本

毎月リブサポメンバーのおすすめ本をホームページやSNSなどで紹介しています。



## リブサポメンバーの声

★今年はコロナのえいきょうもありイベントなどは少なかったけど、おすすめの本紹介などをしたりして、楽しく活動ができます!

★本の整理やイベント用の飾りをつくるのがやりやすく、とても楽しく活動ができます。

★最初は緊張することも多かったけど、子どもたちが真剣に聞いてくれたり、楽しそうに聞いてくれたりする姿を見て、読み聞かせの楽しさを感じることができました。

★イベントや講演会のお手伝いをしたことで対応力が身についたと思います。



# リズサポメンバーのおすすめの本を紹介します！

## 『ルドルフとイッパイアッテナ』

斉藤 洋 作 杉浦 範茂 絵  
講談社

映画化もされた本で、仲間や友達の大切さが分かる本です。とてもおもしろく読みやすい本なので、ぜひ読んでみて下さい。

(R・I)

## 『ジョーカー・ゲーム』

柳 広司 著 角川書店

“D機関”と呼ばれるスパイ養成学校にて訓練を受けた謀報員達が「死ぬな、殺すな、とらわれるな」の戒律を胸に世界各地で暗躍します。毎話ごとに繰り広げられる謀報戦がとても魅力的です。

(K)

## 『名も無き世界のエンドロール』

行成 薫 著 集英社

幼馴染の二人が史上最高の「プロポーズ大作戦」を計画する。時系列が前後する物語の構成に引き込まれます。作戦に隠された意図、予想外の結末に最後まで目が離せません。

(A・O)

## 『けものフレンズ〔2〕大切な想い』

けものフレンズプロジェクト 原作・原案  
百瀬 しのぶ 文 KADOKAWA

最後に皆で協力して戦うシーンがとてもかっこいいです。かわいいところもたくさんあるのもオススメです！

(宮口 市岐)

## 令和2年度ライブラリー・サポーターズのおすすめ本（ホームページ・SNSで紹介）から

## 『サード・プレイス』

ささき あり 作 酒井 以 絵  
フレーベル館

家でも学校でもない、第三の場所〈サード・プレイス〉で、瑞希、ダイ、ぴよっち、亮がいろいろな人と関わる中で変化していく物語です。様々な悩みを抱えた中高生の物語なので、共感しながら読むことができます。

(ヤマコ)

## 『犬がいた季節』

伊吹 有喜 著 双葉社

この本は、2021年本屋大賞にノミネートされた作品です。1989年から2019年までの12年間を高校で過ごした犬コーシローとその高校の高校生について書かれた連作短編集です。多感な高校生の描写をコーシローの視点で描いてあるなど工夫がたくさんあります。ぜひ読んでみてください！

(K・R)

## 『ぼくらの七日間戦争』

宗田 理 作 ポプラ社

どうして僕たちは、「ルール」や「規則」に縛りつけられないといけないのだろう……先生や親などをやっつける方法はないのだろうか……そんな、中高生なら一度は感じたことがある疑問に「ぼくら」が答えます。クラスの男子全員で廃工場に立てこもり、たくさんの大人を困らせる「ぼくら」たち。本当の“青春”それは、この本を読めばわかります。

(にわたりのこども)

## 『ナイルに死す』

アガサ・クリスティー 著 黒原 敏行 訳  
早川書房

美貌の資産家リネットはハネムーン中、何者かに殺されてしまう。リネットを憎んではいながら犯行は不可能なリネットの親友や、怪しげなリネットの財産管理人をはじめとした様々な乗客達。真相を探偵ポアロが解いていきます。張り巡らされた伏線にも注目です。

(マスカット)